

相手国・政府・国際機関 (注1)	名 称	援 助 の 目 的 及 び 内 容	贈与の限度額 (注2)	署名日 (効力生日) (注3)	署 名 者	告示日 告示番号 (注4)
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する昭和五十三年三月十一日付けの国際連合貿易開発会議第九回特別貿易開発理事会第三会期決議第百六十五号に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	318,093千円 -----	H14.2.20 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 カニエンガンベタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.2.13 31号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する昭和五十三年三月十一日付けの国際連合貿易開発会議第九回特別貿易開発理事会第三会期決議第百六十五号に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	218,187千円 -----	H14.2.20 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 カニエンガンベタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.2.13 32号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する昭和五十三年三月十一日付けの国際連合貿易開発会議第九回特別貿易開発理事会第三会期決議第百六十五号に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	315,107千円 -----	H14.2.20 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 カニエンガンベタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.2.13 33号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する昭和五十三年三月十一日付けの国際連合貿易開発会議第九回特別貿易開発理事会第三会期決議第百六十五号に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	309,647千円 -----	H14.2.20 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 カニエンガンベタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.2.13 34号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する昭和五十三年三月十一日付けの国際連合貿易開発会議第九回特別貿易開発理事会第三会期決議第百六十五号に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	174,323千円 -----	H14.2.20 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 カニエンガンベタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.2.13 191号
マラウイ	リヨンダウェ・デツザ地下水開発計画のための贈与に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	リヨンダウェ・デツザ地下水開発計画を実施するために必要な工事、設備及び開港施設の建設に必要な生産物及び役務の供与するための資金を贈与すること。	518,000千円 H15.3.31まで	H14.8.7 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 五月女光弘在マラウイ大使 マラウイ側 フライディ・ルイス・マクタ在ザンビアマラウイ高等弁務官代理	H15.9.4 310号

- (注1)国名については、正式名称ではなく一般名称を用いている。
 (注2)贈与の使用期限について定めのないものは、-----と記している。
 (注3)日付については、平成〇年△月□日をH○△□と記している。
 (注4)告示番号は、官報における外務省告示番号をいう。

マラウイの無償資金協力取権一観

相手国政府・機関 (注1)	名 称	援 助 の 目 的 及 び 内 容	贈与の限度額 (注2)	署名日 (効期日) (注3)	署 名 者	告示日 告示番号 (注4)
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する国際的取組に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の關係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	211,596千円 -----	H15.3.6 ブランダ イヤで (同日)	日本側 石弘之在マラウイ 大使 マラウイ側 フライディ ・ A・ジュンベ財務・経済 計画大臣	H16.6.15 262号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する国際的取組に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の關係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	1,223,563千円 -----	H15.3.6 ブランダ イヤで (同日)	日本側 石弘之在マラウイ 大使 マラウイ側 フライディ ・ A・ジュンベ財務・経済 計画大臣	H16.6.15 263号
マラウイ	無償資金協力に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	貧困開発途上国の債務問題に関する国際的取組に留意し、マラウイの経済の発展と国民の福祉の向上に寄与するため、両政府の關係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金を贈与すること。	525,666千円 -----	H15.9.10 ルサカ(ザンビア)で (同日)	日本側 石弘之在マラウイ 大使(ザンビアにて兼職) マラウイ側 ブライディ ・ ルイス・マクタ在ザンビ ア ア・マラウイ高等弁務官 (同日)	H17.8.22 836号
マラウイ	マラリア対策計画のための贈与に関する日本国政府とマラウイ共和国政府との間の交換公文	マラリア対策計画を実施するために必要な機材及びその輸送に必要な役務の供与 1. 機材及びその輸送に必要な役務の供与 2. 上記1の生産物の輸送に必要な役務の供与	277,000千円 H16.12.15まで	H15.12.16 ブランダ イヤで (同日)	日本側 石弘之在マラウイ 大使 マラウイ側 ブライディ ・ A・ジュンベ財務大臣	H16.8.3 414号

(注1)国名については、正式名称ではなく一般名称を用いている。

(注2)贈与の使用期限について定めのないものは、-----と記している。

(注3)日付については、平成○年△月□日をH○.△.□と記している。

(注4)告示番号は、官報における外務省告示番号をいう。